

## 2022年12月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2023年2月1日

上場会社名 東邦レマック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7422 URL <http://www.toho-lamac.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 庄治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部部长 (氏名) 高野 裕一

TEL 03-3832-0132

定時株主総会開催予定日 2023年3月17日

配当支払開始予定日

2023年3月20日

有価証券報告書提出予定日 2023年3月20日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年12月期の業績(2021年12月21日～2022年12月20日)

#### (1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期	6,376	0.6	251		19		6	
2021年12月期	6,338	5.8	233		111		217	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年12月期	12.07		0.1	0.3	4.0
2021年12月期	427.75		4.6	1.7	3.7

(参考) 持分法投資損益 2022年12月期 百万円 2021年12月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期	6,198	4,501	72.6	8,842.70
2021年12月期	6,411	4,656	72.6	9,145.75

(参考) 自己資本 2022年12月期 4,501百万円 2021年12月期 4,656百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年12月期	654	235	158	1,408
2021年12月期	154	277	59	1,985

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年12月期		57.00		57.00	114.00	58		1.2
2022年12月期		53.00		53.00	106.00	53		1.2
2023年12月期(予想)		53.00		53.00	106.00		125.5	

### 3. 2023年12月期の業績予想(2022年12月21日～2023年12月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	4.0	76		49		27		54.02
通期	5,950	6.7	30		24		43		84.47

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期	512,070 株	2021年12月期	512,070 株
期末自己株式数	2022年12月期	2,999 株	2021年12月期	2,949 株
期中平均株式数	2022年12月期	509,075 株	2021年12月期	509,134 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 財務諸表及び主な注記	6
(1) 貸借対照表	6
(2) 損益計算書	9
(3) 株主資本等変動計算書	11
(4) キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(会計方針の変更)	15
(表示方法の変更)	15
(追加情報)	16
(セグメント情報等)	16
(持分法損益等)	16
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たなステージへの移行に着手しようとする中、入国規制や行動制限の一部緩和により、国内外への人流が増加し、社会経済活動の活気が戻り始めるなど、景気を持ち直しが期待されております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大への懸念、長引くロシア・ウクライナ紛争など不安定な国際情勢を背景とした資源価格の高騰、日米の金利差拡大を背景とした急激な円安の影響により原材料費や物流費が高騰し、食品・サービスを始めとする幅広い分野において値上げラッシュが続くなど、景気回復に向け、予断を許さない先行き不透明な状況が続いております。

靴流通業界におきましては、行動制限の緩和により外出機会が増加し、消費動向は持ち直しの動きが見られたものの、コロナ禍において変遷してきた価値観、ワークスタイルや消費動向パターン等の影響により、市場規模が縮小傾向にあり、非常に厳しい経営環境が続いております。商品につきましては、スニーカーを中心としたスポーツ系カジュアルや観光・レジャー用途のアウトドア系カジュアルの需要が多く、少しずつではありますがビジネスアイテムにも動きが見られるようになってきました。

このような状況の中で、当社は婦人靴が苦戦し、ゴム・スニーカー・その他や紳士靴の商品群が健闘いたしましたが、納得のいく結果を残すことができませんでした。また、急激な円安による商品原価の上昇などについては的確な対処ができず、課題を残す形となりました。

その結果、当事業年度の売上高は63億76百万円（前年同期比0.6%増）と前事業年度を上回りましたが、売上総利益につきましては14億87百万円（前年同期比7.9%減）と前事業年度を下回りました。また営業損益につきましては、販売費及び一般管理費を削減できたものの、売上総利益の減少が響き、2億51百万円の営業損失となりました（前年同期は営業損失2億33百万円）。

経常損益につきましては、昨年を上回る額の投資事業組合運用益を計上したものの営業損失を補うことができず、19百万円の経常損失となりました（前年同期は経常損失1億11百万円）。当期純損益につきましては、昨年以上の固定資産売却益を特別利益として計上したことと特別損失の計上額が減少した影響はあったものの、6百万円の当期純損失と黒字化を達成することはできませんでした（前年同期は当期純損失2億17百万円）。

当社は、シューズ事業の単一セグメントであります。単一セグメントの品目別の売上状況は、次のとおりであります。

#### 婦人靴

婦人靴につきましては、PB商品、お取引様ODM商品を含め全般的に苦戦しました。ライセンスブランドでは、「earth music&ecology（アースミュージック&エコロジー）」「la farfa（ラファーファ）」が伸長しました。

用途別では、前事業年度に比べ、サンダル類が20.4%、ブーツ類11.1%と季節商品が前年同期に比べ増加しましたが、カジュアル類が18.5%、パンプス類が12.5%減少しました。販売単価は上昇（前年同期比12.3%増）しましたが、販売足数の減少（前年同期比12.7%減）により、売上高は37億41百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

#### 紳士靴

紳士靴につきましては、お取引先様ODM商品を含め、定番商品のビジネスシューズ、カジュアルシューズともに苦戦しました。ライセンスブランドでは、「KenCollection（ケンコレクション）」が伸長しました。販売足数は減少（前年同期比10.8%減）しましたが、販売単価の上昇（前年同期比13.8%増）により、売上高は10億75百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

#### ゴム・スニーカー・その他

ゴム・スニーカー・その他の売上高は、お取引先様ODM商品のスニーカー受注が伸長しました。子供靴のライセンスブランド「ALGY（アルジー）」は苦戦しました。販売単価の上昇（前年同期比3.3%増）と、販売足数の増加（前年同期比3.1%増）により、売上高は15億58百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ6.0%減少し40億91百万円となりました。これは、主に電子記録債権が1億1百万円、商品が2億27百万円増加した一方で、現金及び預金が6億19百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2.3%増加し21億7百万円となりました。これは、主に土地が69百万円減少した一方で、投資その他の資産の投資有価証券が1億円増加したこと等によるものであります。この結果、資産合計は、前事業年度末に比べ3.3%減少し61億98百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ3.5%減少し11億35百万円となりました。これは、主にその他(デリバティブ債務)が1億18百万円増加した一方で、短期借入金が1億円及びその他(仮受金)が52百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ2.8%減少し5億61百万円となりました。これは、主に退職給付引当金が13百万円減少したこと等によるものであります。この結果、負債合計は、前事業年度末に比べ3.3%減少し16億97百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ3.3%減少し45億1百万円となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金が25百万円増加した一方で、繰越利益剰余金が62百万円及び繰延ヘッジ損益が1億18百万円減少したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが6億54百万円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローが2億35百万円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローが1億58百万円の支出となり、この結果、当事業年度末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)残高は、前事業年度末に比べ5億76百万円減少し、14億8百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において営業活動による資金の減少は6億54百万円(前年同期は1億54百万円の資金の増加)となりました。これは、主に受取賃貸料81百万円、投資事業組合運用益1億21百万円、売上債権の増加額1億68百万円及び棚卸資産の増加額2億27百万円等の減少要因があったことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において投資活動による資金の増加は2億35百万円(前年同期は2億77百万円の資金の増加)となりました。これは、主に定期預金の払戻による収入43百万円、有価証券の償還による収入50百万円、有形固定資産の売却による収入41百万円及び投資不動産の賃貸による収入82百万円等の増加要因があったことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度において財務活動による資金の減少は1億58百万円(前年同期は59百万円の資金の減少)となりました。これは、主に短期借入金の純減少額1億円及び配当金の支払額55百万円等の減少要因があったことによるものであります。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期	2022年12月期
自己資本比率 (%)	62.0	69.2	71.8	72.6	72.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	22.1	23.1	20.3	20.8	22.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	22.5	2.2	2.7	6.5	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	20.9	168.2	129.6	30.4	-

(注) 自己資本比率：純資産/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
2. 営業キャッシュ・フローは、キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
3. 2022年12月期においては、「営業活動によるキャッシュ・フロー」がマイナスのためキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは表示しておりません。

## (4) 今後の見通し

ウィズコロナの新たなステージへの移行に着手しようとする中、入国規制や行動制限の一部緩和により、国内外への人流が増加し、社会経済活動の活気が戻り始めるなど、景気の持ち直しが期待されております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の再拡大への懸念、長引くロシア・ウクライナ紛争など不安定な国際情勢を背景とした資源価格の高騰、日米の金利差拡大を背景とした急激な円安の影響により原材料費や物流費が高騰し、食品・サービスを始めとする幅広い分野において値上げラッシュが続くなど、景気回復に向け、予断を許さない先行き不透明な状況が続いております。

このような状況におきまして、当社の掲げる経営理念である「創造・開拓・奉仕」の精神に基づき、以下の課題に取り組んでまいります。

## (1) 商品戦略

引き続きライフスタイルのカジュアル化やファッションのダイバーシティ化に対応すべく、商品開発に注力してまいります。このような時だからこそ、お客様が喜びを感じられる商品やサービスは何かを徹底的に考え、お客様体験の向上を図ってまいります。さらに地球環境に優しい素材の利用や開発、リサイクル可能な素材や資材を積極的に取り入れてまいります。

## (2) 営業戦略

お客様の潜在的なニーズを予測して、お客様にとって価値ある商品やサービスをタイムリーに提供していくことに注力してまいります。そのためにマーケティングを重視して、お客様に喜んでもらえる商品や売場の提案を強化してまいります。また発注管理を徹底し、商品回転率の向上に取り組み、売場の鮮度を保つよう心掛けてまいります。多様化した市場に対応するため、異業種へのアプローチを継続し、新たな市場の創造・開拓に努めてまいります。

次期業績の見通しにつきましては、売上高59億50百万円、営業損失30百万円、経常利益24百万円、当期純利益43百万円を見込んでおります。

#### (5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、6期連続の営業損失、5期連続で当期純損失を計上していること、また、当事業年度は営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象、又は状況が存在しております。

このような状況のもと、当社では当該状況を解消すべく、引き続き「レマックリバイバルプラン」を推進してまいります。それに加えてお客様の「新しい日常」に喜ばれる商品やサービスは何か?という新たな課題にも取り組み、計画を実行してまいります。具体的なプランとして、① ライフスタイルのカジュアル化やファッションのダイバーシティ化に対応するオリジナルブランドの絞り込みと強化、② 発注管理の徹底による在庫削減、及び商品回転率の向上と物流コストの削減、③ 品質管理体制の見直し、ローカル化することで精度向上と効率化、④ 働き方改革による一人当たりの生産性向上のために異業種へのアプローチを強化、新たな市場の創造・開拓など、管理職を始めとする全社員の意識改革を行い、強力で推進してまいります。

なお、現状の当社は、現金及び預金の残高と短期間に資金化可能な債権の残高に加えて、その他にも売却可能な資産も充分ある状況であり、また取引銀行から必要な融資枠を確保できていることから、翌事業年度1年間の運転資金が十分に賄える状況であり、資金繰りに懸念はありません。

従いまして、当事業年度末現在において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

#### 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

## 3. 財務諸表及び主な注記

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年12月20日)	当事業年度 (2022年12月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,028,229	1,408,715
受取手形	134,605	122,422
電子記録債権	820,863	922,581
売掛金	674,900	757,838
有価証券	50,000	-
商品	558,138	785,269
その他	96,756	101,061
貸倒引当金	△11,867	△6,850
流動資産合計	4,351,626	4,091,037
固定資産		
有形固定資産		
建物	854,553	769,516
減価償却累計額	△642,596	△574,693
建物(純額)	211,957	194,823
構築物	21,942	21,942
減価償却累計額	△19,106	△19,346
構築物(純額)	2,836	2,596
車両運搬具	6,516	6,516
減価償却累計額	△6,516	△6,516
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	111,084	111,064
減価償却累計額	△109,894	△109,377
工具、器具及び備品(純額)	1,190	1,686
土地	710,241	640,260
リース資産	7,512	7,512
減価償却累計額	△5,235	△6,536
リース資産(純額)	2,276	975
有形固定資産合計	928,501	840,341
無形固定資産		
借地権	4,539	4,539
ソフトウェア	3,085	2,153
ソフトウェア仮勘定	-	11,165
電話加入権	3,911	3,911
無形固定資産合計	11,536	21,770



(単位：千円)

	前事業年度 (2021年12月20日)	当事業年度 (2022年12月20日)
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	460,245	560,824
出資金	60	60
破産更生債権等	12,979	1,689
投資不動産	802,683	901,983
減価償却累計額	△170,968	△233,684
投資不動産(純額)	631,715	668,299
差入保証金	7,100	1,985
その他	20,454	14,478
貸倒引当金	△12,979	△1,689
投資その他の資産合計	1,119,575	1,245,646
固定資産合計	2,059,612	2,107,758
<b>資産合計</b>	<b>6,411,239</b>	<b>6,198,796</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形	36,254	31,083
買掛金	68,962	47,079
短期借入金	800,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	-	11,750
リース債務	2,236	1,578
未払金	125,518	130,102
未払費用	48,918	47,777
未払法人税等	8,221	8,474
賞与引当金	16,725	15,608
その他	70,106	141,948
流動負債合計	1,176,944	1,135,403
<b>固定負債</b>		
長期借入金	200,000	188,250
リース債務	1,608	-
繰延税金負債	81,261	90,557
退職給付引当金	201,585	187,947
役員退職慰労引当金	69,917	71,364
長期預り保証金	23,630	23,712
固定負債合計	578,002	561,831
<b>負債合計</b>	<b>1,754,947</b>	<b>1,697,234</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年12月20日)	当事業年度 (2022年12月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,720	961,720
資本剰余金		
資本準備金	838,440	838,440
資本剰余金合計	838,440	838,440
利益剰余金		
利益準備金	125,930	125,930
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	157,711	157,711
別途積立金	1,440,000	1,440,000
繰越利益剰余金	1,122,704	1,060,560
利益剰余金合計	2,846,346	2,784,202
自己株式	△15,535	△15,669
株主資本合計	4,630,970	4,568,692
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	25,814	51,481
繰延ヘッジ損益	△492	△118,611
評価・換算差額等合計	25,321	△67,130
純資産合計	4,656,292	4,501,562
負債純資産合計	6,411,239	6,198,796

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年12月21日 至 2021年12月20日)	当事業年度 (自 2021年12月21日 至 2022年12月20日)
売上高	6,338,928	6,376,232
売上原価		
商品期首棚卸高	579,584	558,138
当期商品仕入高	4,702,804	5,115,444
合計	5,282,388	5,673,582
商品期末棚卸高	558,138	785,269
商品売上原価	4,724,250	4,888,313
売上総利益	1,614,677	1,487,919
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	46,121	40,208
運送費及び保管費	343,794	322,989
販売促進費	129,431	120,710
支払手数料	378,171	383,398
貸倒引当金繰入額	△2,982	△4,687
役員報酬	35,730	34,806
従業員給料及び手当	443,662	440,340
賞与引当金繰入額	16,725	15,608
退職給付費用	28,604	29,777
役員退職慰労引当金繰入額	△221	1,447
雑給	27,811	26,219
その他の人件費	79,758	77,909
旅費及び交通費	21,065	24,659
通信費	3,804	3,735
水道光熱費	14,485	12,846
消耗品費	39,812	39,448
租税公課	27,475	27,180
減価償却費	16,066	13,408
賃借料	91,885	15,327
修繕費	2,758	3,944
雑費	104,319	110,532
販売費及び一般管理費合計	1,848,280	1,739,812
営業損失(△)	△233,603	△251,893

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年12月21日 至 2021年12月20日)	当事業年度 (自 2021年12月21日 至 2022年12月20日)
営業外収益		
受取利息	3	1
有価証券利息	2,066	2,708
受取配当金	12,517	11,481
受取賃貸料	80,408	81,717
為替差益	-	635
保険解約返戻金	2,314	17,514
投資事業組合運用益	6,444	121,902
雇用調整助成金	35,670	14,943
その他	18,165	18,643
営業外収益合計	157,590	269,547
営業外費用		
支払利息	5,076	5,096
賃貸費用	30,832	32,074
為替差損	33	-
営業外費用合計	35,942	37,170
経常損失(△)	△111,954	△19,517
特別利益		
固定資産売却益	544	16,647
投資有価証券売却益	6,809	-
特別利益合計	7,354	16,647
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	107,350	-
減損損失	844	-
特別損失合計	108,194	0
税引前当期純損失(△)	△212,794	△2,869
法人税、住民税及び事業税	4,990	3,274
法人税等合計	4,990	3,274
当期純損失(△)	△217,784	△6,143

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年12月21日 至 2021年12月20日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	961,720	838,440	125,930	157,711	1,440,000	1,398,530
当期変動額						
剰余金の配当						△58,041
当期純損失(△)						△217,784
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△275,825
当期末残高	961,720	838,440	125,930	157,711	1,440,000	1,122,704

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△15,439	4,906,892	△29,261	△5,590	△34,852	4,872,040
当期変動額						
剰余金の配当		△58,041				△58,041
当期純損失(△)		△217,784				△217,784
自己株式の取得	△96	△96				△96
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			55,076	5,098	60,174	60,174
当期変動額合計	△96	△275,922	55,076	5,098	60,174	△215,748
当期末残高	△15,535	4,630,970	25,814	△492	25,321	4,656,292

当事業年度(自 2021年12月21日 至 2022年12月20日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金		
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金
当期首残高	961,720	838,440	125,930	157,711	1,440,000	1,122,704
当期変動額						
剰余金の配当						△56,000
当期純損失(△)						△6,143
自己株式の取得						
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)						
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△62,144
当期末残高	961,720	838,440	125,930	157,711	1,440,000	1,060,560

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△15,535	4,630,970	25,814	△492	25,321	4,656,292
当期変動額						
剰余金の配当		△56,000				△56,000
当期純損失(△)		△6,143				△6,143
自己株式の取得	△133	△133				△133
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			25,666	△118,118	△92,451	△92,451
当期変動額合計	△133	△62,278	25,666	△118,118	△92,451	△154,729
当期末残高	△15,669	4,568,692	51,481	△118,611	△67,130	4,501,562

## (4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年12月21日 至 2021年12月20日)	当事業年度 (自 2021年12月21日 至 2022年12月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純損失(△)	△212,794	△2,869
減価償却費	33,928	31,383
減損損失	844	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25,816	△16,307
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,316	△1,117
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,710	△13,638
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△221	1,447
受取利息及び受取配当金	△14,587	△14,190
受取賃貸料	△80,408	△81,717
保険解約返戻金	△2,314	△17,514
支払利息	5,076	5,096
固定資産売却損益(△は益)	△544	△16,647
投資有価証券売却損益(△は益)	△6,809	-
投資有価証券評価損益(△は益)	107,350	-
投資事業組合運用損益(△は益)	△6,444	△121,902
売上債権の増減額(△は増加)	574,491	△168,383
棚卸資産の増減額(△は増加)	21,446	△227,130
仕入債務の増減額(△は減少)	△190,212	△27,054
未払金の増減額(△は減少)	△1,493	4,784
その他	△42,666	5,667
小計	146,796	△660,095
利息及び配当金の受取額	12,520	16,257
利息の支払額	△5,078	△5,082
法人税等の支払額	△4,074	△7,499
法人税等の還付額	4,333	2,249
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>154,497</b>	<b>△654,169</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△43,000	-
定期預金の払戻による収入	-	43,000
有価証券の取得による支出	△50,000	-
有価証券の償還による収入	-	50,000
有形固定資産の取得による支出	△8,285	△1,728
有形固定資産の売却による収入	67	41,425
無形固定資産の取得による支出	△2,750	△10,150
投資不動産の賃貸による収入	79,842	82,609
投資有価証券の取得による支出	△4,697	△4,513
投資有価証券の売却による収入	125,411	-
投資有価証券の償還による収入	160,745	16,680
差入保証金の差入による支出	△228	△142
差入保証金の回収による収入	26,950	9,647
保険積立金の解約による収入	4,042	25,543
その他	△10,367	△16,584
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>277,729</b>	<b>235,786</b>

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2020年12月21日 至 2021年12月20日)	当事業年度 (自 2021年12月21日 至 2022年12月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△100,000
配当金の支払額	△57,643	△55,914
その他	△2,152	△2,217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△59,796	△158,131
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	372,430	△576,514
現金及び現金同等物の期首残高	1,612,798	1,985,229
現金及び現金同等物の期末残高	1,985,229	1,408,715



(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより一部の取引において、従来は顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当社の役割が代理人に該当する取引については、顧客から受け取る額から商品の仕入先に支払う額を控除した純額で収益を認識することとしております。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品の国内の販売において、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当事業年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当事業年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当事業年度の売上高は181,582千円、売上原価は181,582千円減少しておりますが、営業損失、経常損失及び税引前当期純損失への影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高についても影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前事業年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる当事業年度に係る財務諸表への影響はありません。

(表示方法の変更)

(キャッシュ・フロー計算書)

前事業年度において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めておりました「投資事業組合運用損益(△は益)」は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前事業年度の財務諸表の組替えを行っております。この結果、前事業年度のキャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△49,110千円は、「投資事業組合運用損益(△は益)」△6,444千円、「その他」△42,666千円として組み替えております。

## (追加情報)

新型コロナウイルス感染症は拡大・縮小を繰り返している状態で、いまだ収束時期は不透明であり、経済活動への影響を予想することは困難なことから、当社は外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、新型コロナウイルス感染症の影響が翌事業年度末まで継続すると仮定し、継続企業の前提に係る将来の資金繰りの検討を行っております。

## (セグメント情報等)

## (セグメント情報)

当社は、「シューズ事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

前事業年度 (自 2020年12月21日 至 2021年12月20日)	当事業年度 (自 2021年12月21日 至 2022年12月20日)
1株当たり純資産額 9,145円75銭	1株当たり純資産額 8,842円70銭
1株当たり当期純損失(△) △427円75銭	1株当たり当期純損失(△) △12円07銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2020年12月21日 至 2021年12月20日)	当事業年度 (自 2021年12月21日 至 2022年12月20日)
1株当たり当期純損失		
当期純損失(△)(千円)	△217,784	△6,143
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純損失(△)(千円)	△217,784	△6,143
普通株式の期中平均株式数(株)	509,134	509,075

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。